

# 光の道の実現に向けた 新提案

平成22年10月29日  
ソフトバンク株式会社

**「税金ゼロ」で  
実現できる成長戦略  
があります。**

# 「光の道」

## 新成長戦略（2010.6.18）



- 未来の成長に向け、「コンクリートの道」から「光の道」へと発想を転換
- 経済社会システムが抜本的に効率化
- 新たなイノベーションを生み出す基盤

**「光の道」 = 日本復活の鍵**

**教育が画期的に変わる。**

**医療が画期的に変わる。**

**○ 税金ゼロで実現**

**× 公設民営は  
実質的な増税**

**光の道には2つの意見があります。**

- 1. メタルと光を両方進めるノンビリ方向**
- 2. 一気に光を実現するスピーディー方向**

**私たちは、2. を主張します。**

# 共同出資による アクセス回線会社設立

# アクセス回線を構造分離

現在

NTT東西

接続事業者

接続事業者

アクセス回線(赤字)

「光の道」

NTT東西

接続事業者

接続事業者

アクセス回線会社(黒字)

# アクセス回線会社 株主構成



⋮

**政府を含む  
共同出資**

# アクセス回線会社の株主構成

政府保有NTT株  
2兆円  
(40%)

4%

36%

## アクセス回線会社株主構成(例)

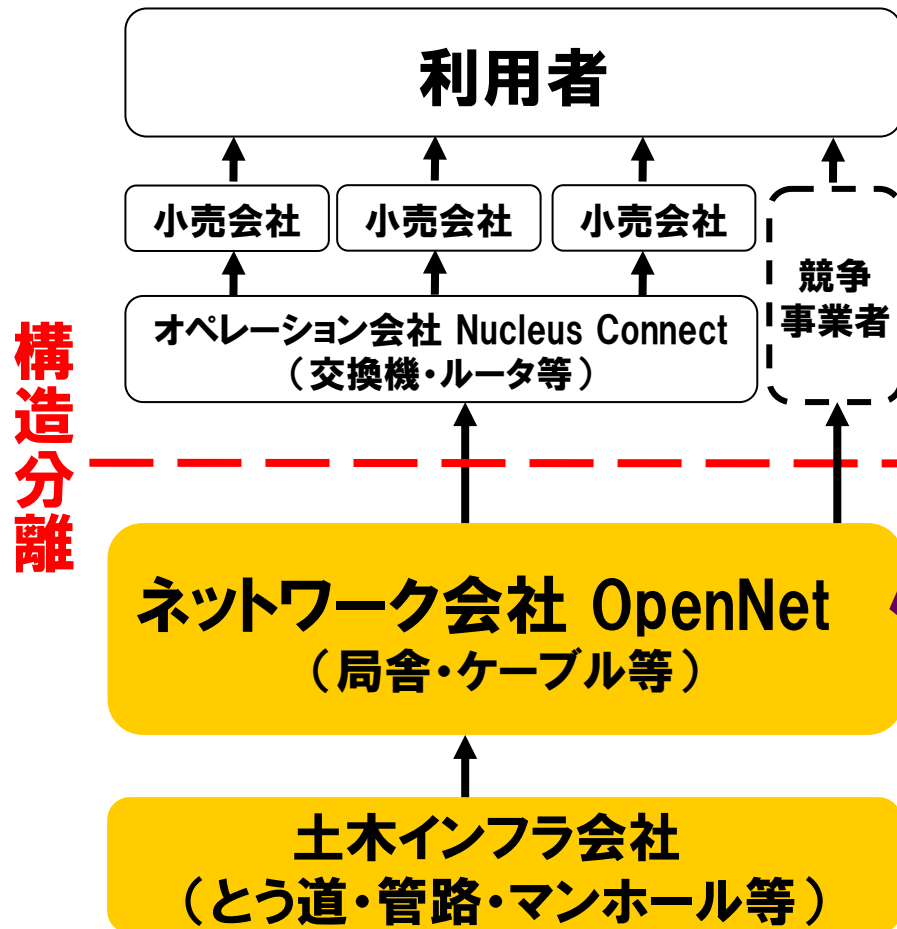
<b>国</b>	<b>40%</b>	<b>2,000億円</b> (現物出資)
<b>NTT</b>	<b>20%</b>	<b>1,000億円</b>
<b>KDDI</b>	<b>20%</b>	<b>1,000億円</b>
<b>SB</b>	<b>20%</b>	<b>1,000億円</b>

## NTT株主構成

<b>国</b>	<b>36%</b>
<b>その他</b>	<b>64%</b>

# アクセス会社の共同出資事例（シンガポール）

## 次世代国家ブロードバンド網 「Next Gen NBN」



## ネットワーク会社の株主構成

SingTel  SingTel 30%

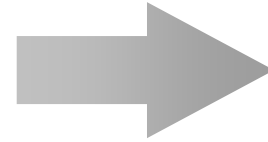
Axia  Axia 30%

SPH  sph 25%  
(Singapore Press Holdings)

SPT  SINGAPORE POWER 15%

# アクセス回線会社設立のポイント

現状



アクセス回線会社

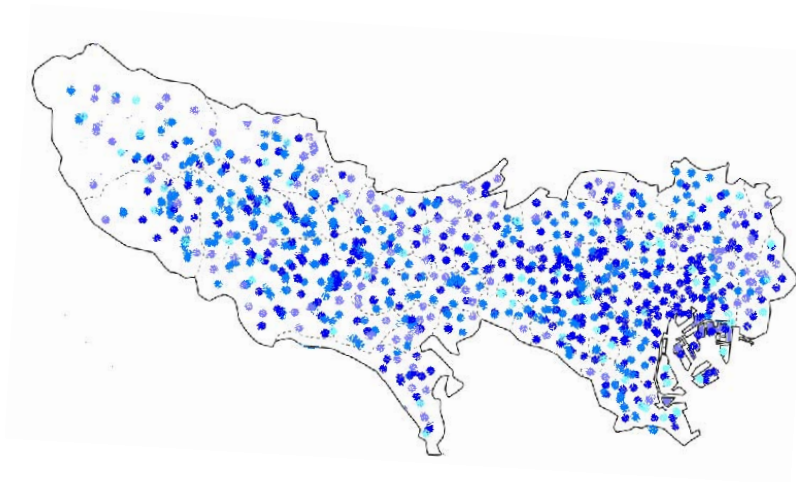
公設民営	光100% 整備方法	税金ゼロ
必要	ユニバーサル サービス基金	不要
高止まり	光回線料金	1,400円 (メタルと同額)
▲2,900億円	収支	2,300億円
デジタルデバイド拡大	地域格差	全ての国民を同等に
低下	国際競争力	向上

# 税金ゼロで全国一律提供

- ① 全国計画的工事
- ② メタル全撤去
- ③ アクセス会社分離

## 個別工事

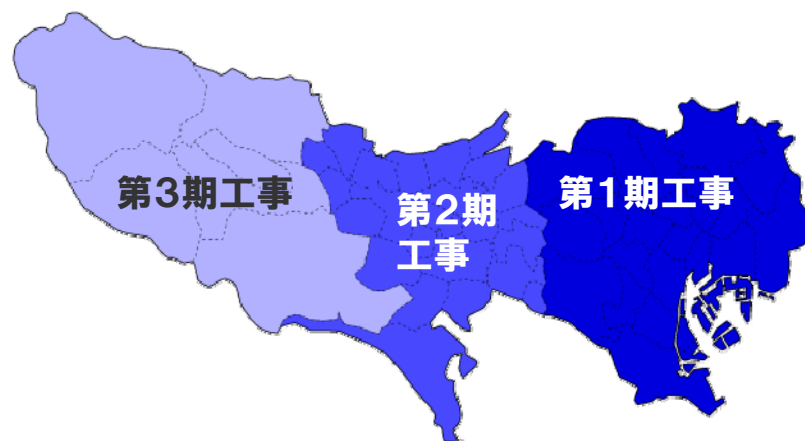
個別のユーザ要望により敷設



**非効率**

## 一括工事

エリア単位で全世界帯に敷設

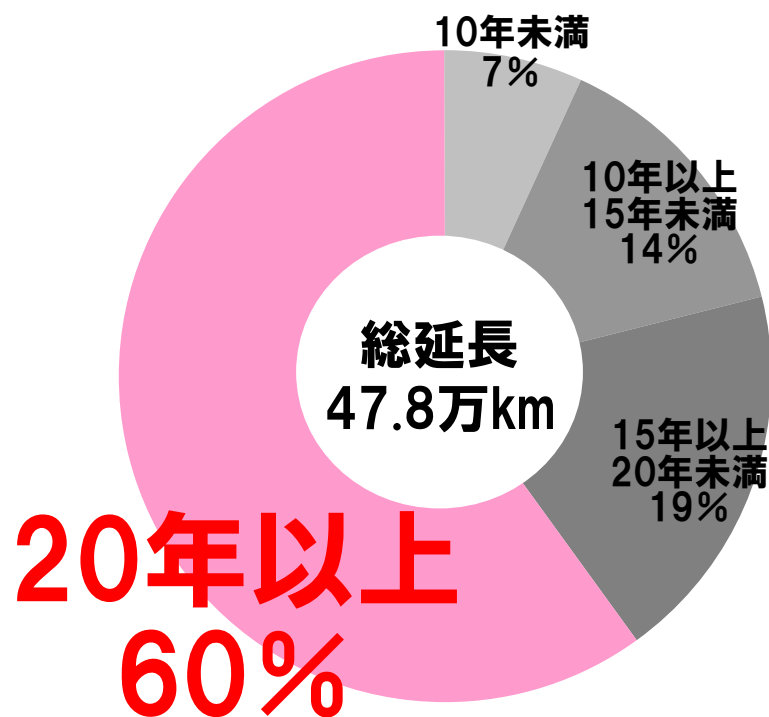


**大幅な  
コスト削減**

# メタルの保全費は高い

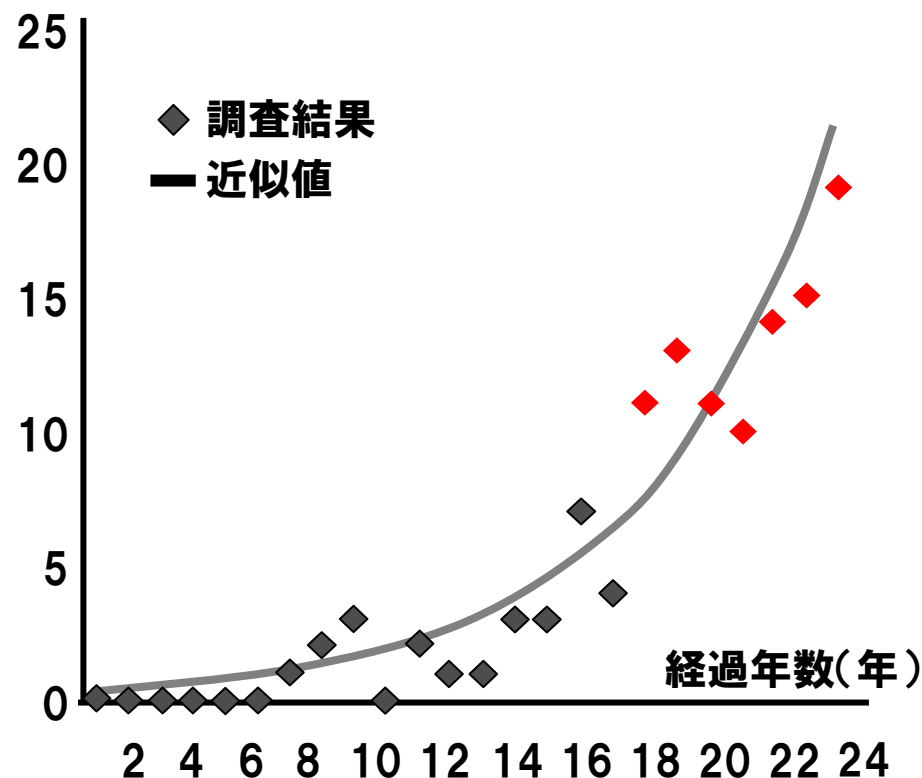
加入者メタルケーブルの  
経過年数別構成(NTT東日本)

※ケーブル延長の構成比 [H22年末想定]



架空メタルケーブルの  
経過年数別故障件数

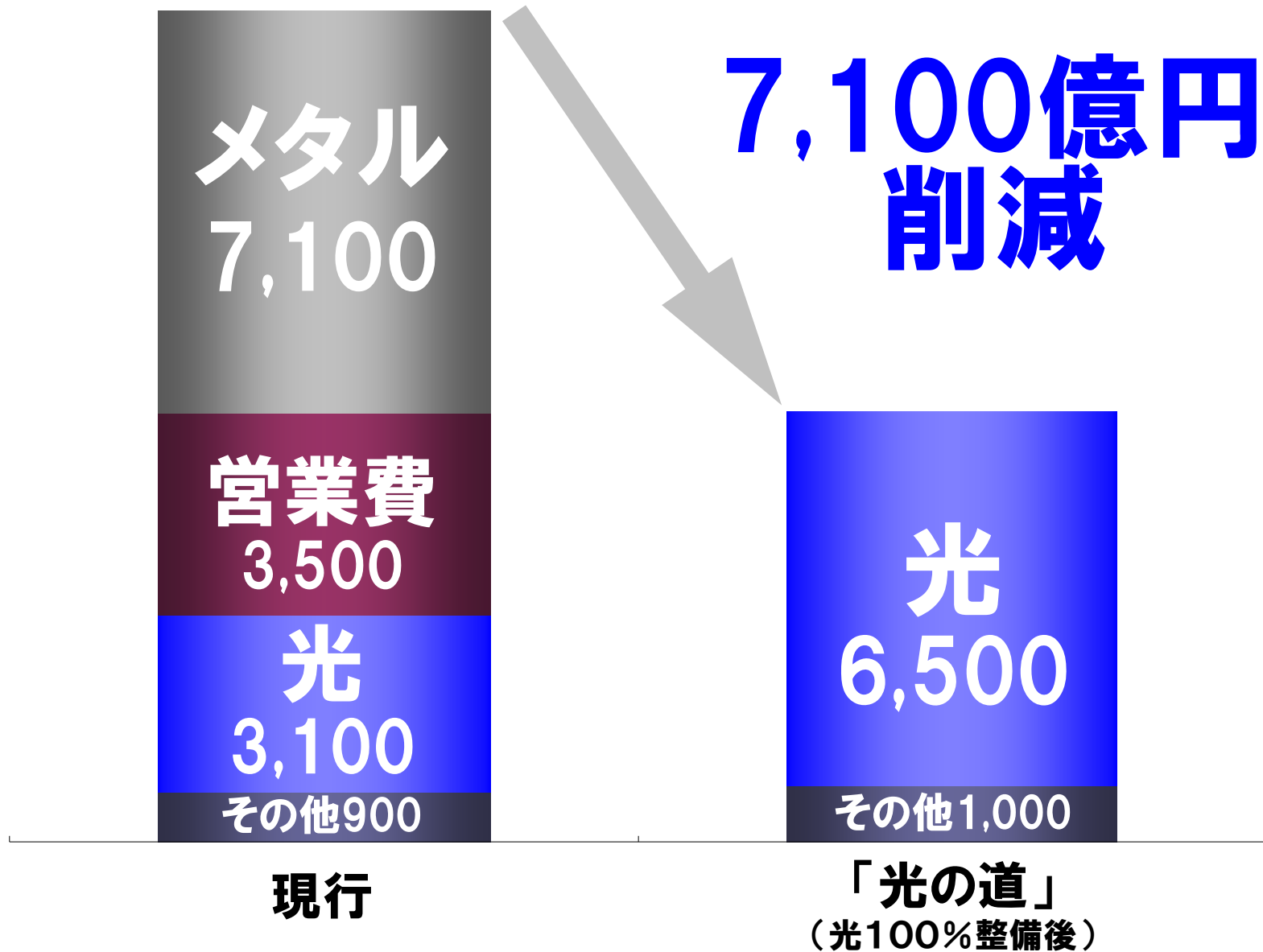
故障件数(件/km)



**18年経過より故障率上昇**

※「平成20年度以降の接続料算定の在り方について」に対する意見 平成19年5月22日 東日本電信電話株式会社より  
一部推計し当社作成。

# アクセス会社費用(年額・試算)



# アクセス回線部門のコスト構造 (単位:億円)

現 状

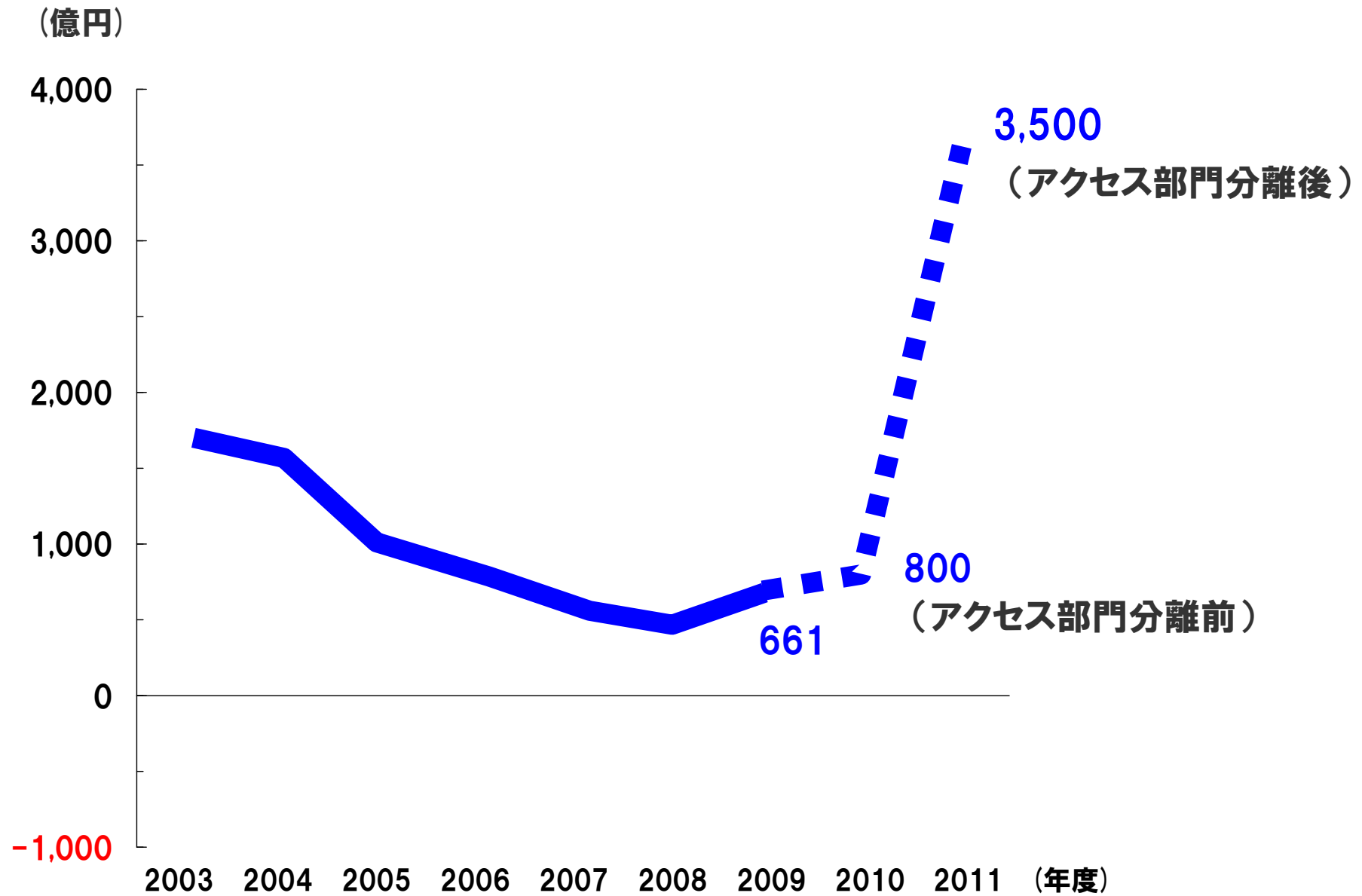
アクセス回線部門	
売上高	11,783
メタルコスト	7,100
営業費	3,538
光コスト	3,132
その他	894
<b>営業損失 ▲</b>	<b>2,881</b>



光100%整備後

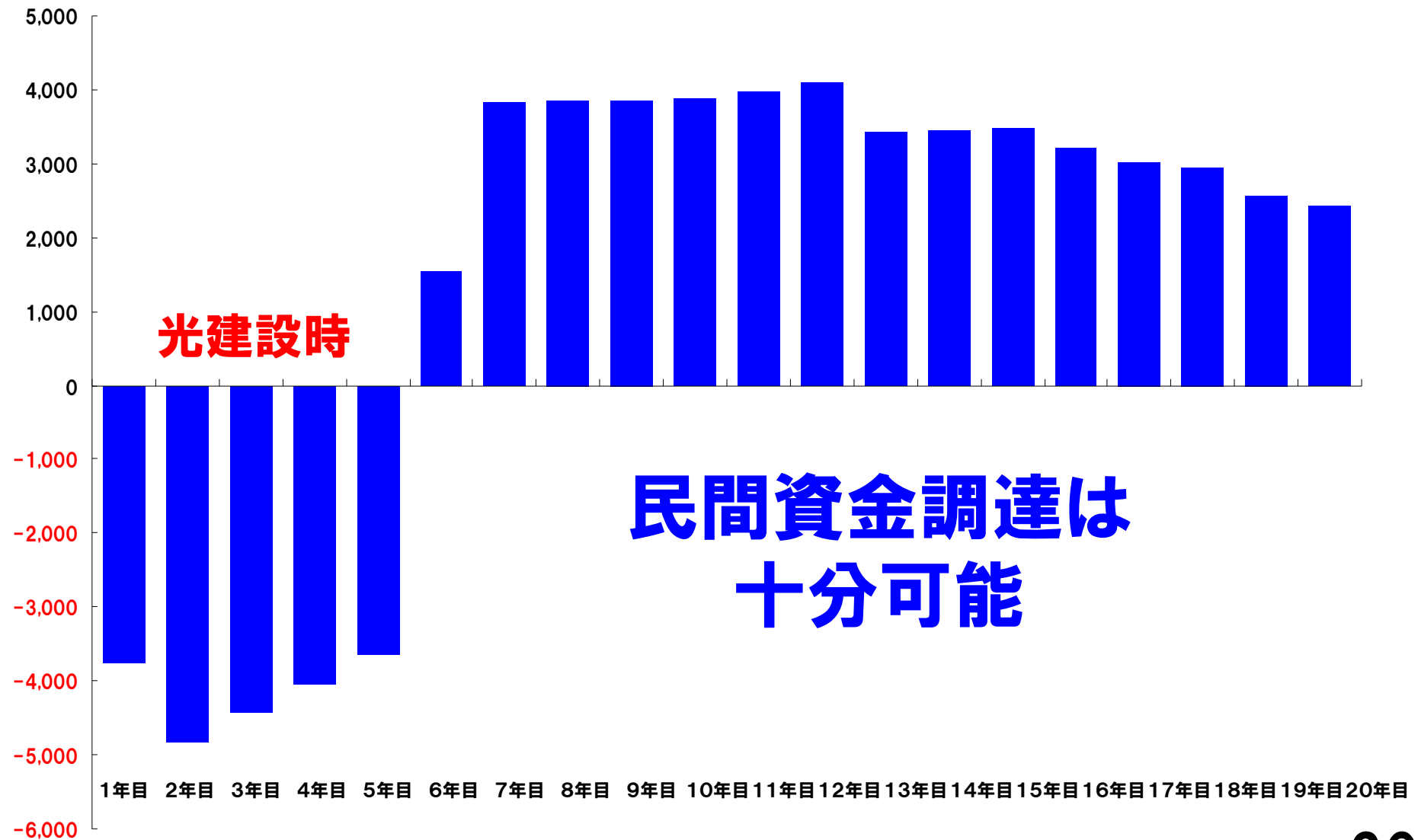
アクセス回線会社	
売上高	9,830
メタルコスト	0
営業費	0
光コスト	6,513
その他	990
<b>営業利益</b>	<b>2,326</b>

# NTT東西 営業利益

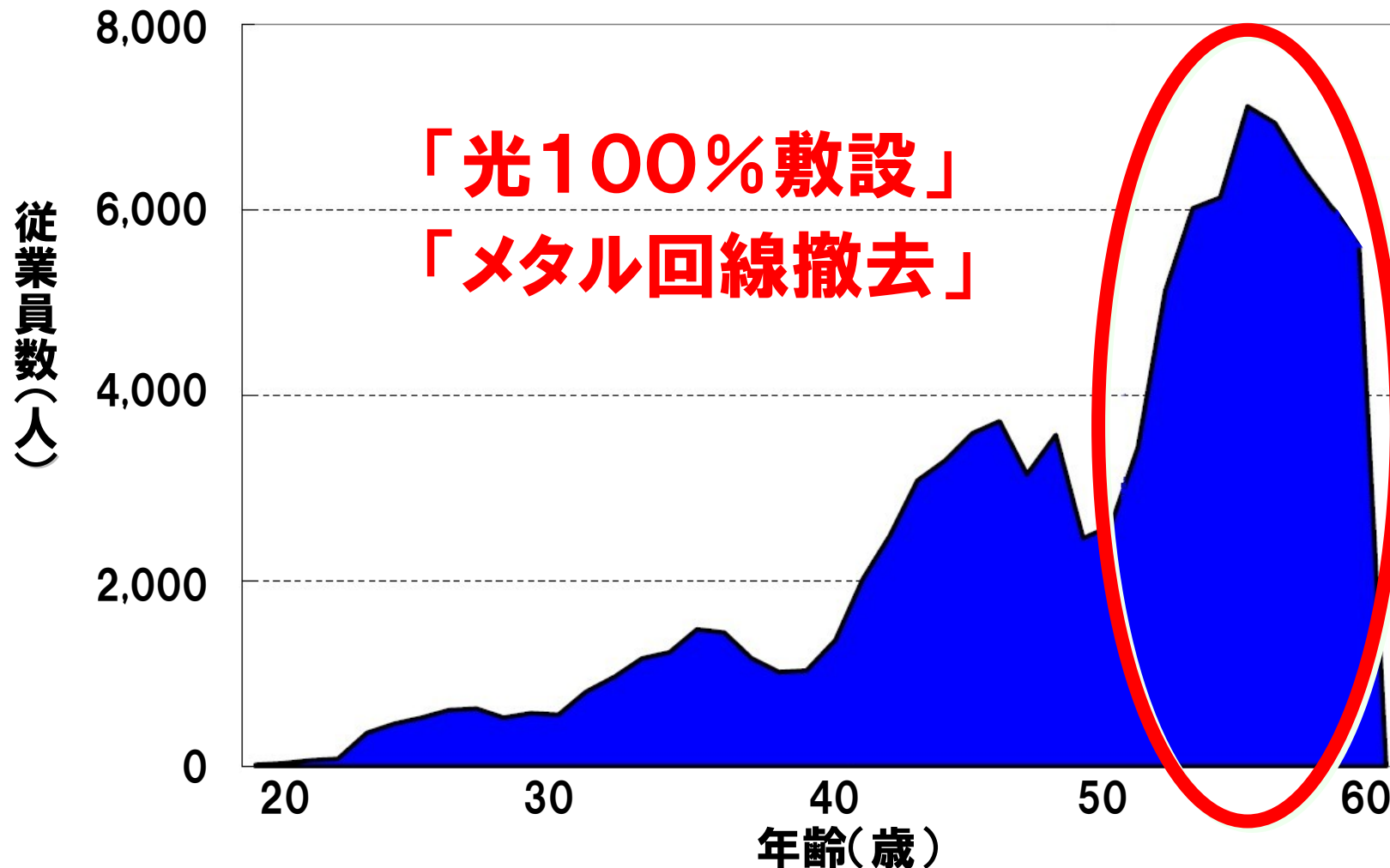


# アクセス回線会社 フリーキャッシュフロー(単年度)

(億円)



# 経験豊富なNTT人材が活躍



※NTT IRロードショー資料集(2009年10月)

# アクセス部門の従業員の雇用

雇用の維持 +  $\alpha$

処遇は現状維持 +  $\alpha$

# 料金イメージ

現状		アクセス回線会社	
メタル回線	1,400円	光回線	1,400円
電話	300円	電話	300円
電話基本料	1,700円	電話基本料	1,700円
光BB	5,000円	光BB	1,150円 (例)

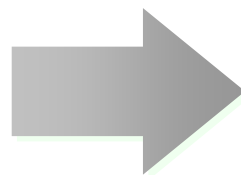
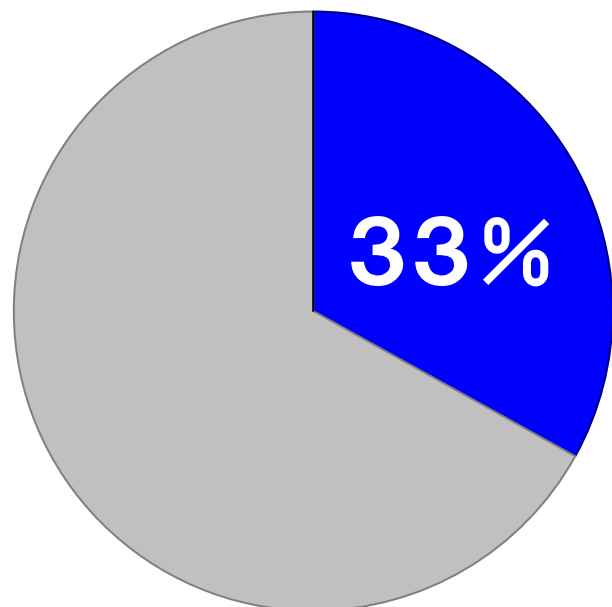
※ ISP/コンテンツは、各社競争

**利用率100%に向けて**

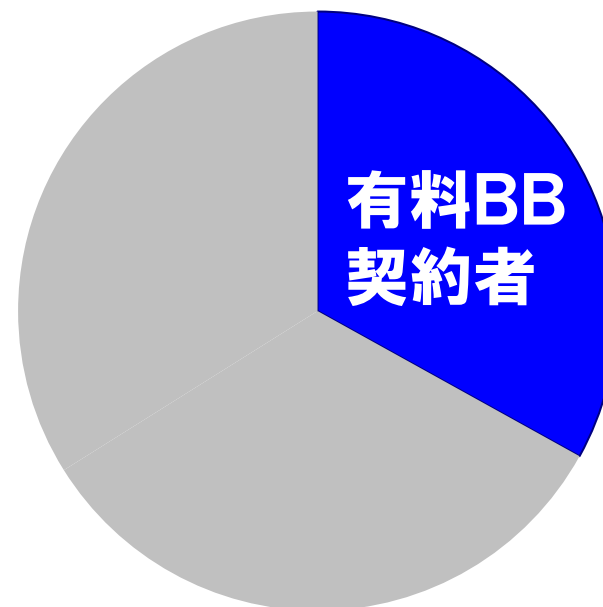
# 利用率100%へ

ADSLからの移行・無料BBサービス提供により達成

現状



2015年

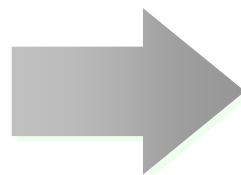
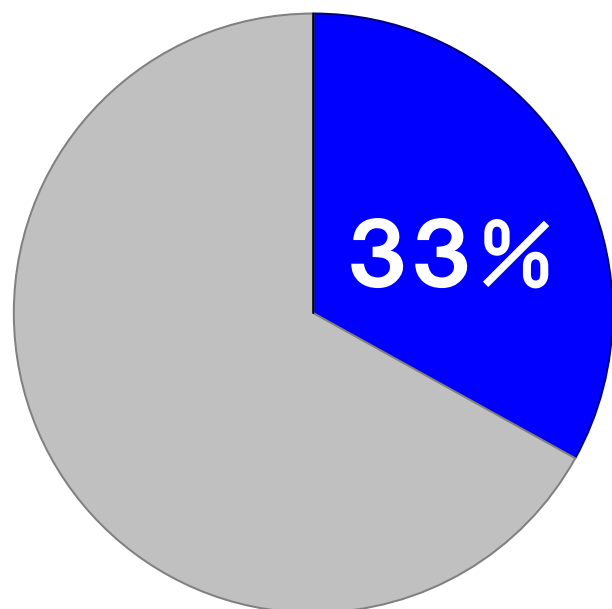


33%

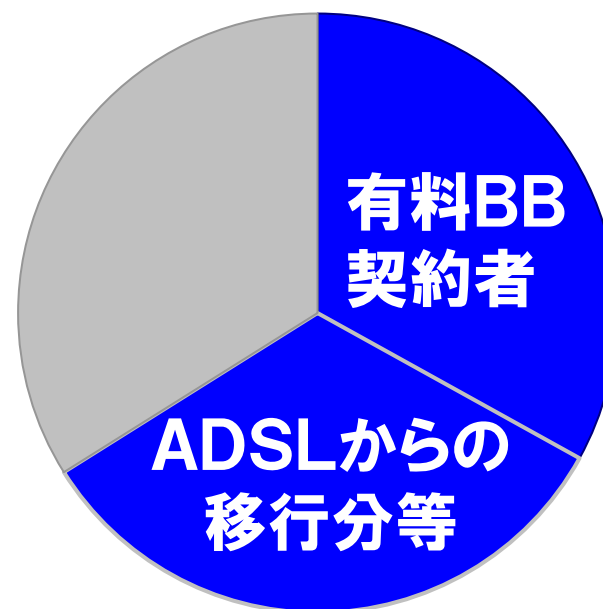
# 利用率100%へ

ADSLからの移行・無料BBサービス提供により達成

現状



2015年

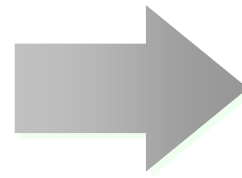
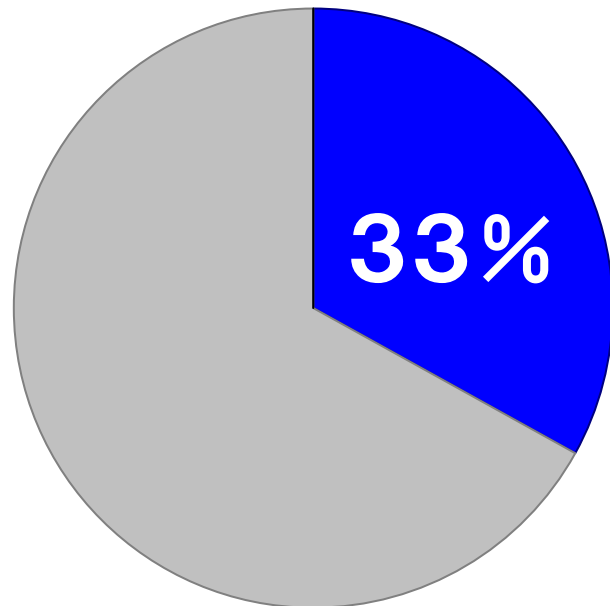


66%

# 利用率100%へ

ADSLからの移行・無料BBサービス提供により達成

現状



2015年



100%



## 電話のみの家庭は 契約変更 不要

- 従来と同じ料金
- 電話機もそのまま

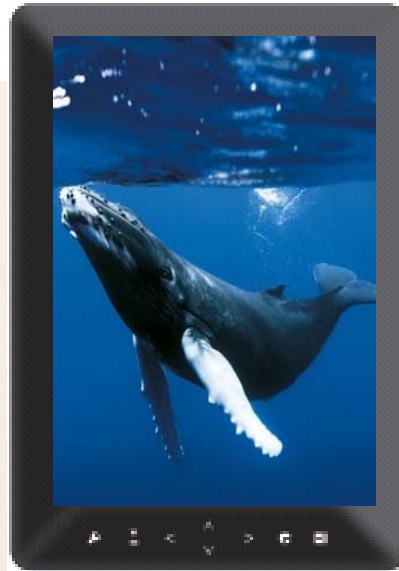
端末代無償  
通信代無償

# デジタル教育

高度なIT教育プログラムの提供



# 電子教科書クラウド

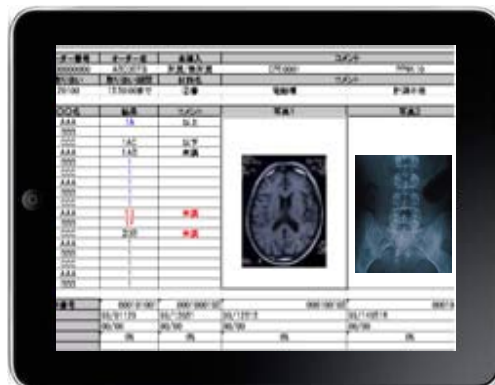


電子教科書



- 最新の教科書
- 音声／画像
- 映像
- よくある質問
- Web情報 など

# 全ての医療従事者に 電子カルテ端末を無料配布



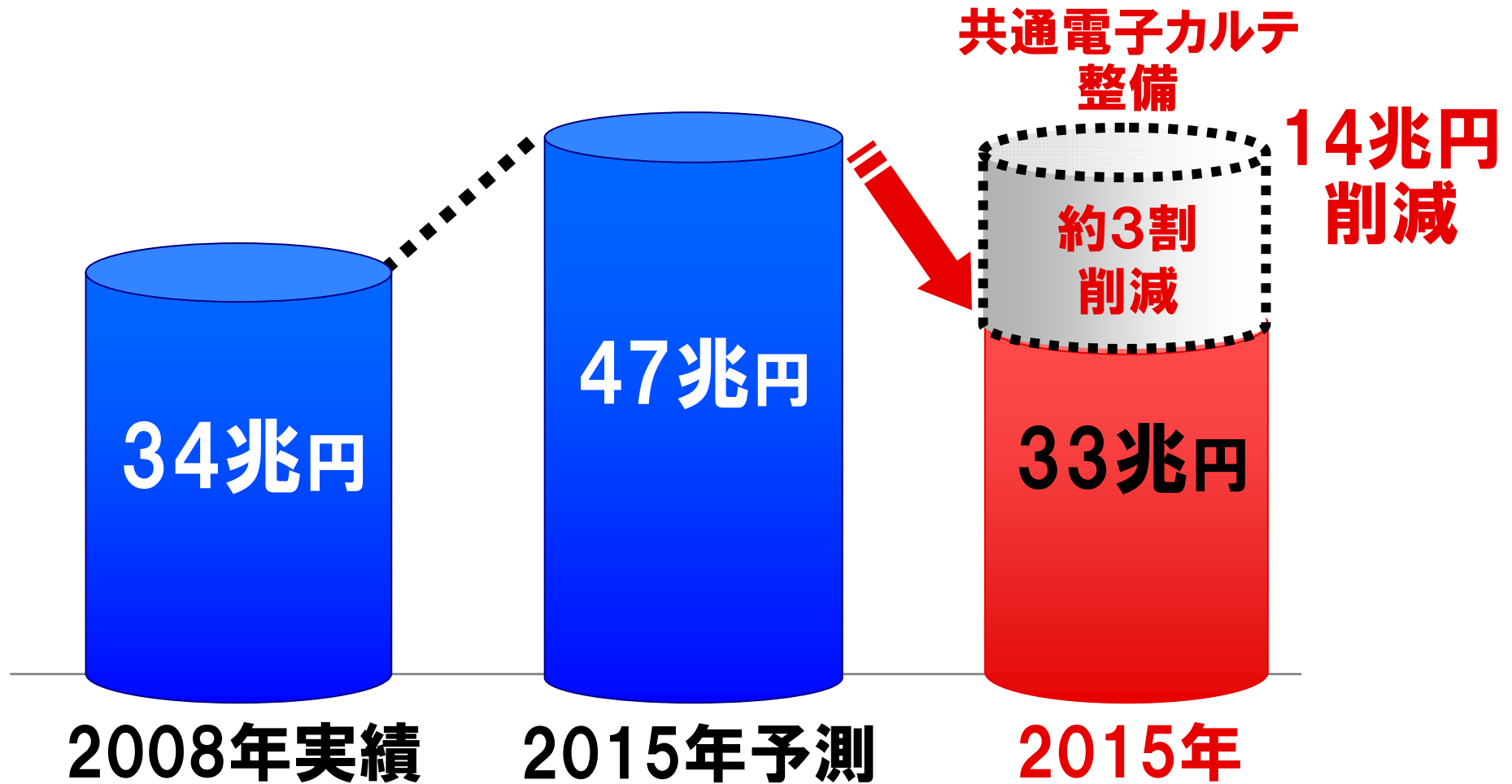
## ITリテラシーは不要

端末導入費(試算) **600億円** = 月 **280円** / 医療従事者

※2万円/台 × 300万人

※対象者: 医師29万人、看護師132万人、介護ヘルパー128万人、その他10万人(医学生、研究機関)

# 医療費の削減へ

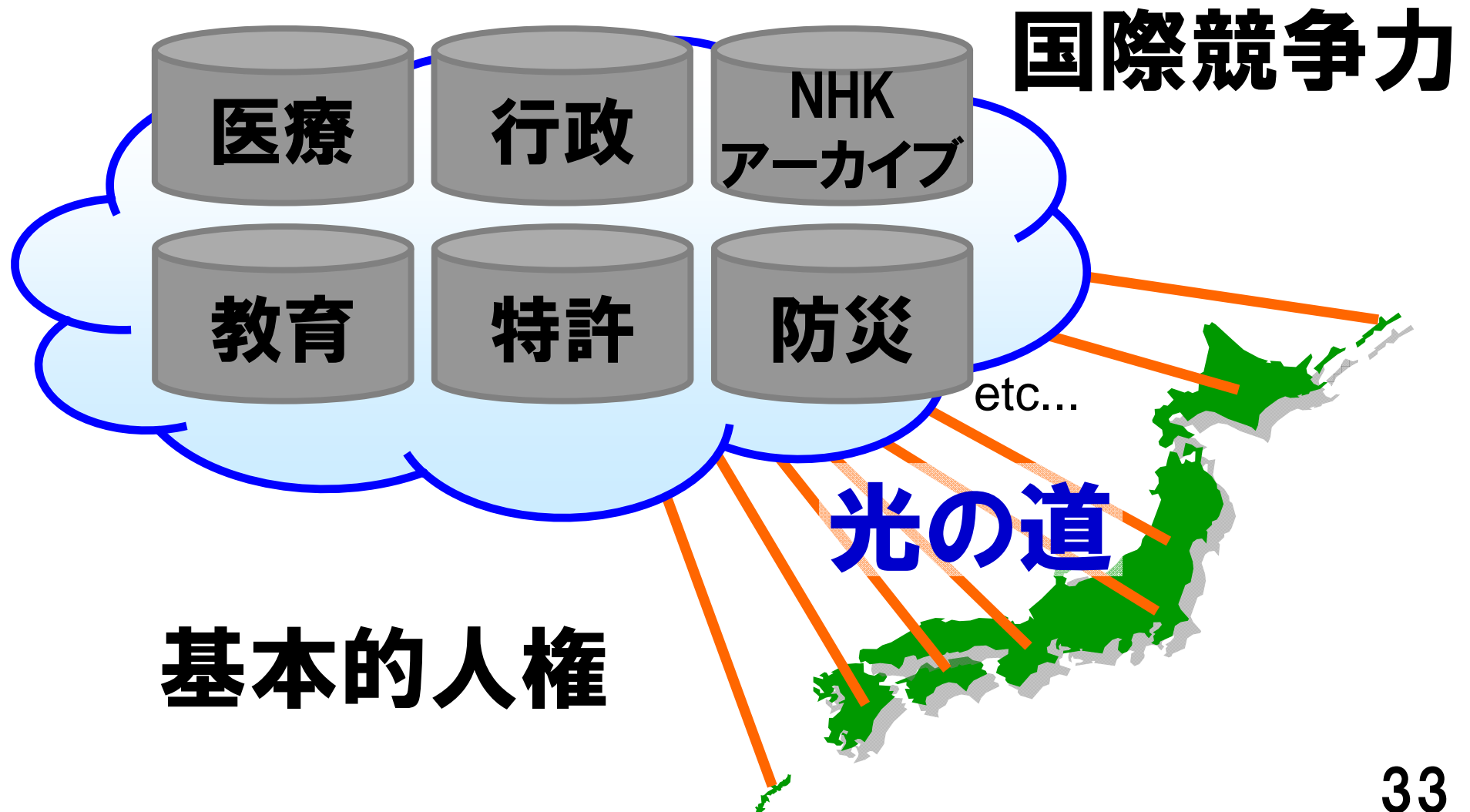


※出典:厚生労働省

※当社試算の目標値

# Japan クラウド構想

複数の次世代サービスを一元化



# 結論

# アクセス回線を構造分離

現在

NTT東西

接続事業者

接続事業者

アクセス回線(赤字)

「光の道」

NTT東西

接続事業者

接続事業者

アクセス回線会社(黒字)



# アクセス回線会社の株主構成

政府保有NTT株  
2兆円  
(40%)

4%

36%

## アクセス回線会社株主構成(例)

<b>国</b>	<b>40%</b>	<b>2,000億円</b> (現物出資)
<b>NTT</b>	<b>20%</b>	<b>1,000億円</b>
<b>KDDI</b>	<b>20%</b>	<b>1,000億円</b>
<b>SB</b>	<b>20%</b>	<b>1,000億円</b>

## NTT株主構成

<b>国</b>	<b>36%</b>
<b>その他</b>	<b>64%</b>

# 料金イメージ

現状		アクセス回線会社	
メタル回線	1,400円	光回線	1,400円
電話	300円	電話	300円
電話基本料	1,700円	電話基本料	1,700円
光BB	5,000円	光BB	1,150円 (例)

※ ISP/コンテンツは、各社競争

# 税金ゼロで全国一律提供

- ① 全国計画的工事
- ② メタル全撤去
- ③ アクセス会社分離

# NTTのメリット



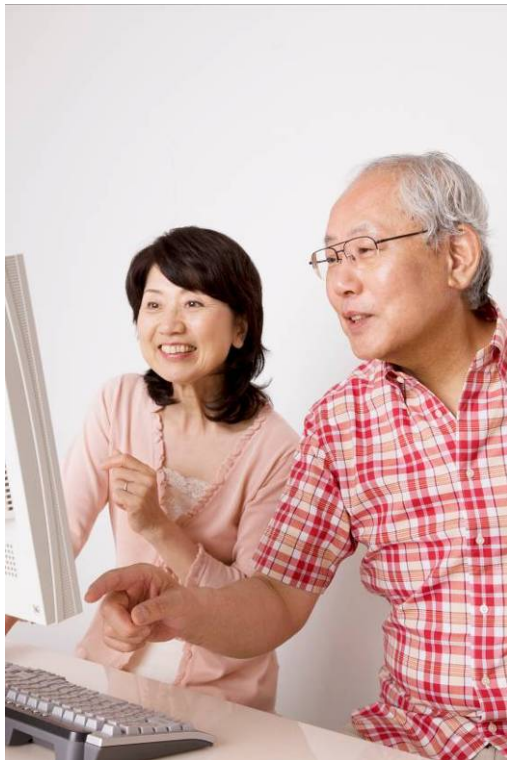
- **通信部門業務は現状のまま**
- **赤字部門の切り離しで増益**  
(有利子負債半減)
- **現在の雇用を保障**

# NTT株主のメリット



- **株主価値向上**
  - **利益向上・負債半減による株価上昇 等**

# 国民のメリット



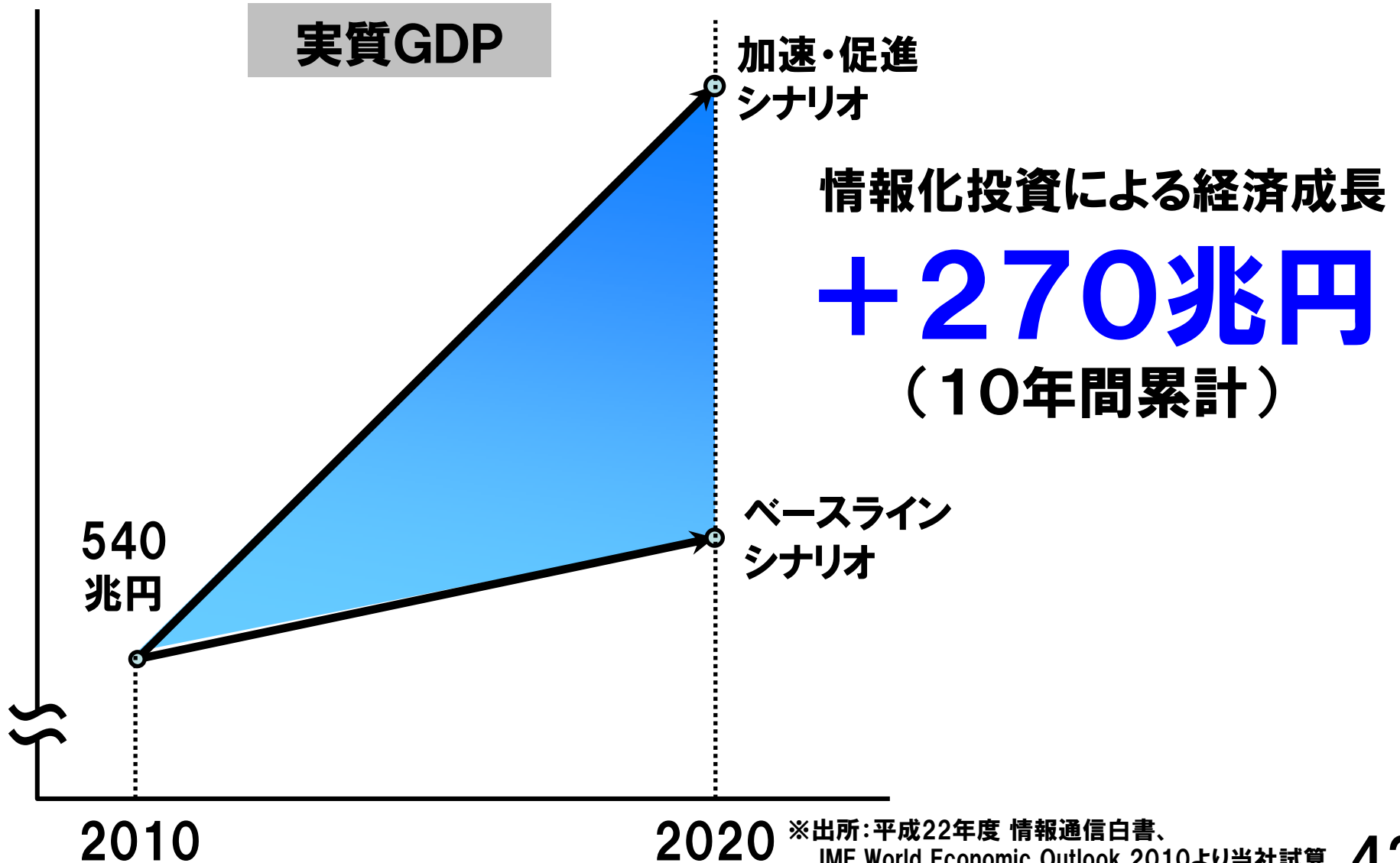
- **安くて高速なBB環境が全ての国民に**
  - 光回線はメタルと同じ1,400円
  - 光BBは1,150円(例)
- **ユニバ負担金ゼロ**

# 国・自治体のメリット(1)



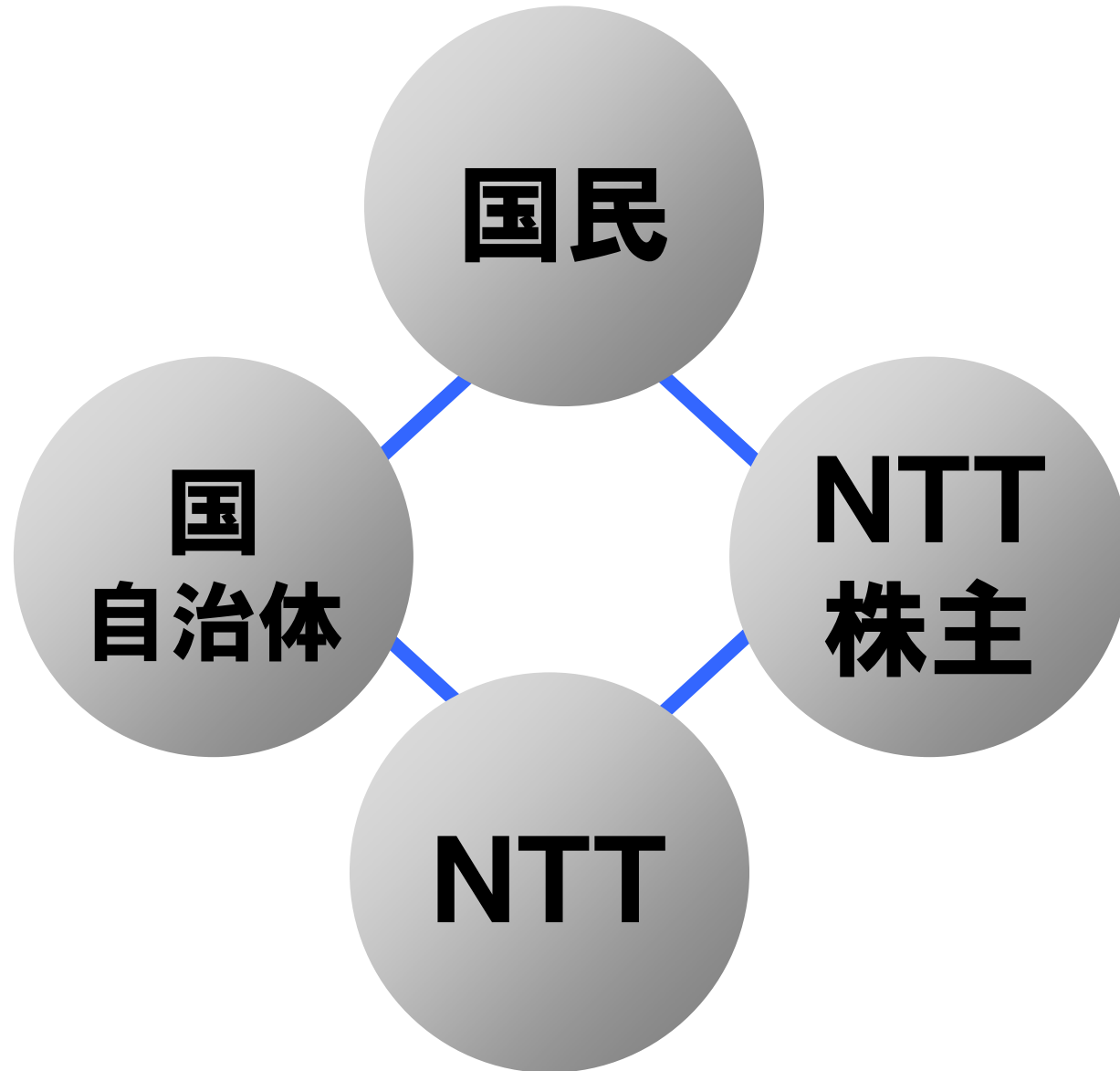
- 国際競争力の向上
- 税金ゼロで光100%整備

# 国・自治体のメリット(2)



※出所:平成22年度 情報通信白書、  
IMF World Economic Outlook 2010より当社試算

# 全ての関係者にメリット



# 日本の現状(1) ～国際競争力～

国際競争力ランキング  
(2010年)

1	シンガポール
2	香港
3	米国
⋮	
27	日本

1992年 1位



2010年 27位



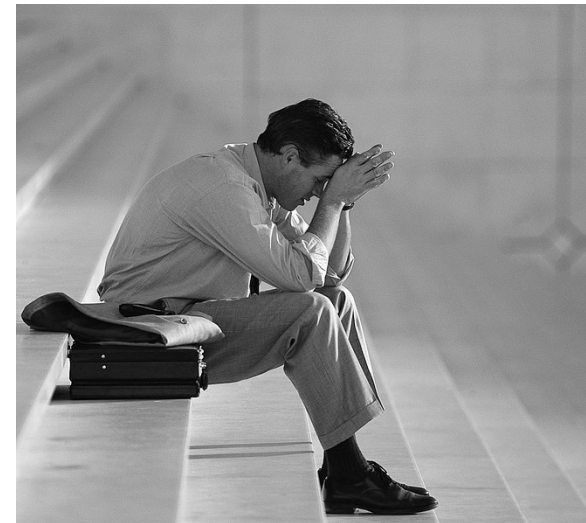
※IMD(経営開発国際研究所)「2010年世界競争力年鑑」

# 日本の現状(2) ～労働生産性～

労働生産性ランキング  
(2009年)

1	ルクセンブルク
2	ノルウェー
3	米国
	⋮
20	日本

15年連続  
G7の中で最下位



※日本生産性本部「労働生産性の国際比較2009年版」

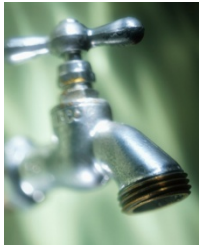
# 20世紀

道路



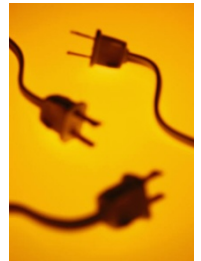
車の道

水道



水の道

電気



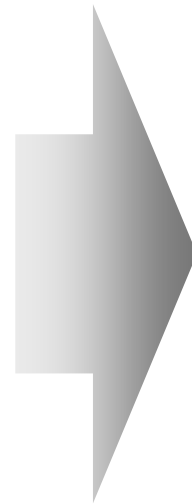
電気の道

電話



通話の道

全世帯



# 21世紀

情報



「光の道」

全世帯

**「光の道」を  
いますぐ税金ゼロで**